

「インフラ・国土と「自分ごと」の距離」

神戸大学 小池淳司

インフラ老朽化問題



国土交通省 (Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism)

埼玉県八潮市道路陥没事故の上空からの写真 (2025年1月31日時点)

「自分たちごと」

私たちとしての主観

インフラストラクチャー

「ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」

社会的共通資本：宇沢弘文

**Design isn't a feeling or a skill, but a valid avenue
for expressing one's viewpoint and thoughts.**

(by Eiko ISHIOKA)

‘まちづくり’とは技術や知識ではない,ましてや単純な感
覚や直感ではない.それは“その人の”人間と社会に對
する観点と思考を現実的に表現するものである.

民間投資とインフラ投資は違う

個人的価値の集計 と 社会的価値

個人の責任 と 社会の責任



インフラ老朽化問題の本質

自由の確保と統合性の養成

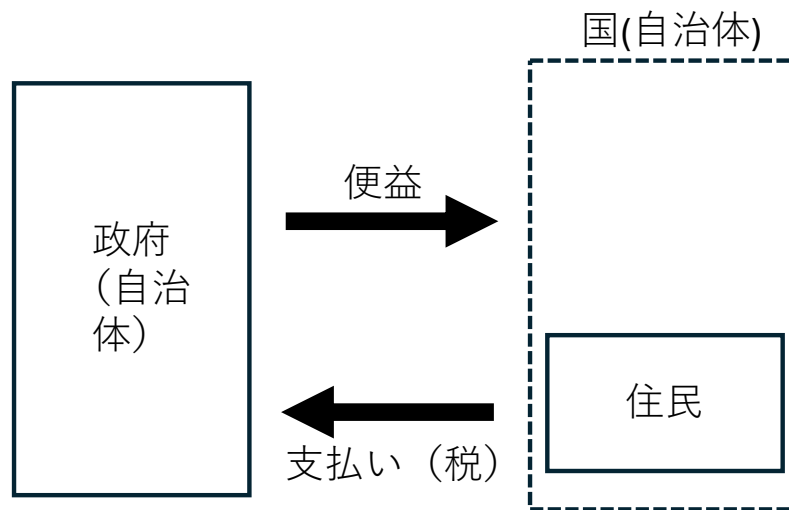
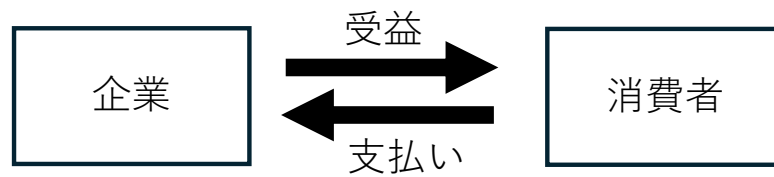
アダム・スミス：『道徳感情論』の冒頭第一部第一篇で

「人間がどんなに利己的なものと想定されうるにしても、明らかにかれの本性のなかには、いくつかの原理があって、それらは、かれに他の人びとの運不運に関心をもたせ、かれらの幸福を、それを見るという快樂のほかにはなにも、かれはそれからひきださないのに、かれにとって必要なものとするのである。この種類に属するのは、哀れみまたは同情であって、それは、われわれが他の人びとの悲惨を見たり、たいへんいきいきと心にえがかせられたりするとき、それにたいして感じる情動である。われわれがしばしば、他の人びとの悲しみから、悲しみをひきだすということは、それを証明するのになにも例をあげる必要がないほど、明白である。」（P23）

「かれの身体にはいりこみ、ある程度かれになって、そこから、かれの諸感動についてのある観念を形成する」（P25）

Sympathyの前提（同胞感情）

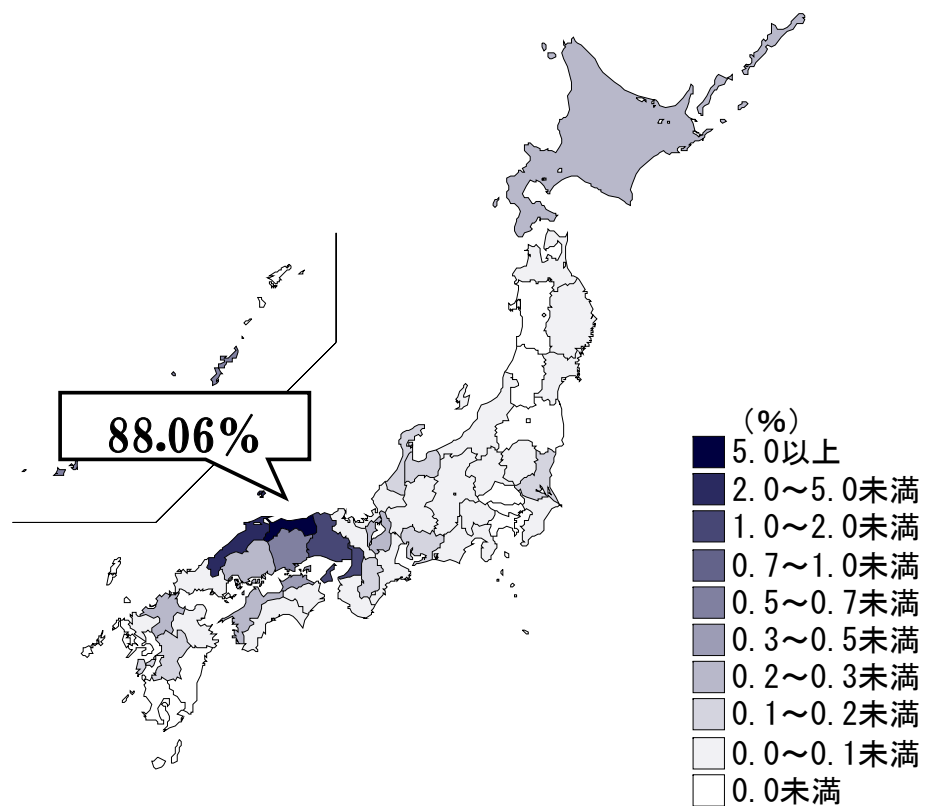
精神的共同体と制度的共同体の乖離



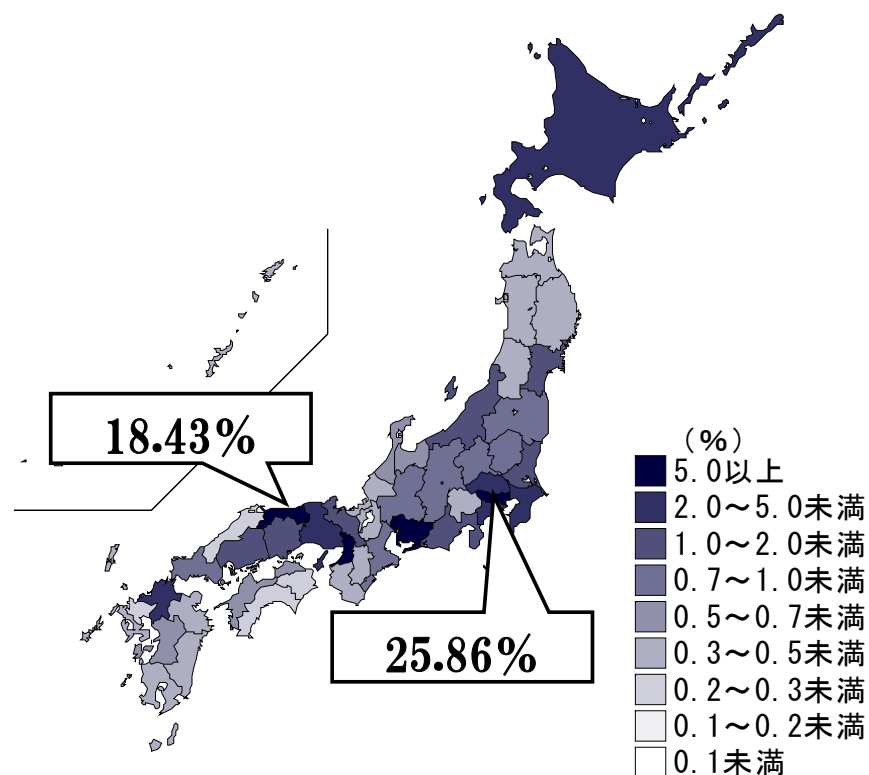
地方と都市の社会的分断

便益帰着と費用負担構造

鳥取県に社会資本を実施した場合



便益帰着構造



費用負担構造

●東京都のX（2025年12月9日）より



これ知ってる？年間1.5兆円もの都税が都民のために使われず、全国に分配されているってホント!?!?

実は、「偏在是正」の名の下に、都民の皆様が納めた貴重な税金のうち、年間約1.5兆円が国に奪われ、地方交付税等として分配されています。

都税は東京の行政サービスに使われるべきものでは？
都はこれまで、高校授業料や給食費無償化など、国の責任において実施すべきものに、先駆的に取り組んできました。
都民の皆様が納めた税金は、本来こうした東京の行政サービスの充実のために使われるべきものです。

なぜ東京だけ税収が奪われる？
人口1人当たりの一般財源額で見れば、都は全国平均（22.9万円）と同水準（23.8万円）であり、是正すべき「偏在」は存在しません。他の道府県も税収は上昇局面にあるにも関わらず、なぜ東京だけが税収を奪われるのでしょうか。いわゆる「偏在是正措置」のコト、一緒に考えてみませんか？

詳しいファクトはこちら> 都と地方の税収Q & A
zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/zaisei/... #東京都

これ知ってる？

年間1.5兆円もの都税が都民のために使われず
全国に分配されているってホント!?!?

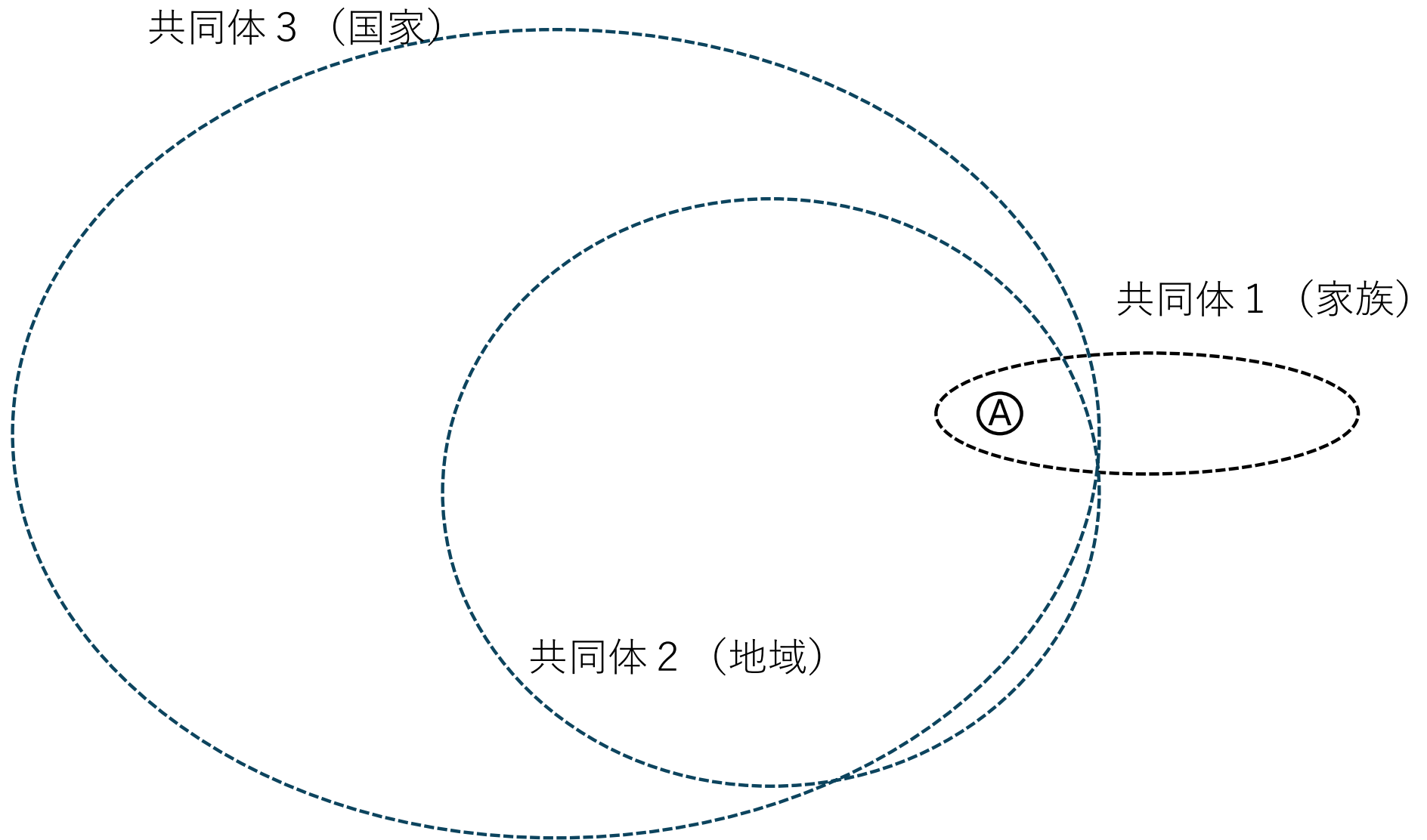


人口1人当たりの一般財源額※は同程度なのに…



同時に複数の共同体に属する個人

同時に複数の共同体の中に存在する自分



インフラが見える化され、すべての人
がそれを「自分ごと」とした場合に起
こりうる社会とは

つまり、私たちが社会と自分の関係をどう捉えるかの問題に帰着する。

「” 浮” となった私たちが望む社会とは」
なになのか？

インフラを「自分ごと」とするとは、

すなわち、社会のあり方を共有すること

**Design isn't a feeling or a skill, but a valid avenue
for expressing one's viewpoint and thoughts.**

(by Eiko ISHIOKA)

‘まちづくり’とは技術や知識ではない,ましてや単純な感
覚や直感ではない.それは“その人の”人間と社会に對
する観点と思考を現実的に表現するものである.

日本国憲法

第二十二条 第1項 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。

第二十五条 第1項 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

和辻倫理学

①人間を孤立した個人として捉えず，間柄的存在としてとらえ，その実践的関連のうちに人間の本質を見る。

②人間世界は社会と個人との二重性において成り立ち，個としての存在は，全体から離脱，すなわち，全体の否定であり，人間存在の本質的契機のひとつとして必ずみとられなければならないものである。が，さらに進んで，その存在は再び自らを否定し，その本来的あり方として共同体存在に自己帰還する。こうした無限に続く否定の否定としての弁証法的運動の全体像が人間の在り方である。

③この規定からは「悪」が次のように規定される。「悪」とは一般に，共同性からの個の背反であるが，背反の事実それ自体は同時に共同性への帰還の契機もなるので，それだけをもって「悪」と呼ぶことはできない。共同性への帰還の運動を伴わないような，背反への固定化，すなわち個への停滞こそが「悪」である。同時にまた，はじめからこの運動への契機をはらまないような共同体への怠惰な眠り込みも「畜群」への転落と位置付けられる。

④夫婦，家族，親族，地縁共同体，経済的組織，文化共同体，国家などの具体的なあり方の中に，それぞれ固有の人倫性を認める。

精神的共同体の
空間範囲

経済的市場の
空間範囲

制度的共同体の
空間範囲

「このまま行ったら『日本』はなくなってしまうのではないかという感を日増しに深くする。日本はなくなつて、その代りに、無機的な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜け目がない、ある経済的大国が極東の一角に残るのであろう」

三島由紀夫

自然は大陸から半島へ，半島からさらに島国へと移っている。旅する者は誰でも気づくであろうが，山は穏やかであり河は静かに流れ，気候は温かく空気は湿り，木は緑に滴り花は色を競っている。しかも海は国を守り，歴史は外から乱されず，人は悦び心は楽しんでいゝる。この国においてほど美に楽しむ心の余裕を有った民族はないであろう。

「茶と美」 柳宗悦